

## 英語 (English )

担当教員名	松田 安隆	
学科・専攻, 科目詳細	都市システム工学科 5年 前期 2単位 学修単位 講義	
学科のカリキュラム表	一般科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	教養科目 外国語系	
学習・教育目標	共生システム工学	A-2(20%) B-1(30%) E-2(50%)
	JABEE基準1(1)	(a)(f)
科目の概要	グローバル化時代の技術者として必要な英語力をつけるために、英語の語彙力や読解力を向上させる。さまざまな英文を読み、英語に関する興味を高める。さらに、英語で考えを伝える練習をする。	
テキスト(参考文献)	Science Communication in English (朝日出版社)	
履修上の注意	前もって配布された課題を確実にやってから授業に出ること。 日々の自宅学習によって英語力の向上に努めること。↑ 理由なき遅刻や欠席で受験できなかった小テストは0点扱いとする。	
科目の達成目標	(1)英語の内容を読み取り、英文を書く練習を通して英文読解力や作文力をつける(学習教育目標 E-2)とともに必要な語彙力をつける。 (2) 付属テープを用いるなどしてヒアリング力や英語運用能力の向上をはかる。(学習教育目標 E-2) (3)現代社会に関する様々な題材を扱い、技術者として必要な国際性など、幅広い教養を身につける。(学習教育目標A-2・B-1)	
自己学習	英文雑誌およびインターネット等を通じて、継続的に異文化理解に有益な情報を収集し、英語の速読力の向上をはかる。 e-learningにより英語運用能力を向上させる。	
目標達成度(成績)の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/4以上の欠課
	評価方法 (1)定期試験(70%) (2)随時実施される課題(e-Learningによる課題を含む)・小テスト・平常の発表等(30%) (1)定期試験: ・まとまった英文から必要な情報を速く的確に読み取ることができる。 ・伝えたいことを適切な英語で表現できる。 (2)小テスト ・基礎的な語彙を正しく使いこなせる。 (3)e-Learning ・期限までに、十分な分量の英文演習を行える。 この配分に基づく評価点が60点以上の者を合格とする	
連絡先	matsuda@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週	<b>オリエンテーション、Unit 1 Science and Communication</b> 科学をコミュニケーションで考えると面白い 現在形と現在進行形
第2週	<b>Unit 2 Engineered Sakura</b> サクラにもエンジニアリング 仮定法
第3週	<b>Unit 3 Science Is for Everyone</b> そもそも科学とはどういうものか to不定詞
第4週	<b>Unit 4 Galileo and Science Communication</b> ガリレオの切り札 接続詞
第5週	<b>Unit 5 What Is Information?</b> 改めて、情報とは何か？ 仮定法
第6週	<b>Unit 6 The Advent of Writing</b> 書く技術、人類に降臨 関係代名詞
第7週	<b>Unit 7 Leonardo da Vinci's Perspective</b> ダ・ヴィンチの遠近法で、科学が発達 分詞構文
第8週	<b>中間試験実施</b> 前半のまとめ
第9週	<b>Unit 8 Scientific Insight into Colors</b> 色彩への科学的洞察 受動態と能動態
第10週	<b>Unit 9 Science Communication Activity</b> 「言っておく」から「伝える」へ 過去形と現在完了形
第11週	<b>Unit 10 Into the Future</b> 科学の話し合いから、平和で幸せな未来をつくる 句動詞
第12週	<b>Unit 11 Communication through Occupation</b> 仕事で社会とコミュニケーション 代名詞
第13週	<b>Unit 12 The Hope of and Anxiety over Robots and Automation</b> ロボットと共存していく社会をどう捉えるか 動名詞
第14週	<b>Unit 13 Technology and Gambling Addiction</b> テクノロジーとギャンブル中毒 分詞
第15週	<b>Unit 14 Cats and Snacks in Rome</b> 永遠の都ローマの悩み 比較
<b>期末試験</b>	